

平成30年度 第3回

川合市長と語り合うタウンミーティング

～ 南公民館登録グループ連絡会～



日時：平成30年11月15日（木）

午後6時30分～8時30分

場所：南公民館

参加者

南公民館登録グループ連絡会 35 団体 50 名

出席者

市長、宍戸副市長、総合政策部長、市民部長、文化スポーツ部長、都市計画部長
建設部長、教育総務部長

意見数

分類	件数	内容	頁
教育・文化・スポーツ	12	・公民館登録グループの優先予約権	2
		・公民館使用料・使用時間	3
		・南公民館の備品	5
		・南公民館の案内板設置	5
		・南公民館分室の設置	6
		・ウェスタ川越施設設備	7
		・ウェスタ川越駐車場・駐輪場	8
		・ウェスタ川越周辺の公共施設	9
		・川越運動公園陸上競技場	10
		・川越駅東口図書館の蔵書	17
		・川越駅西口への図書館設置	18
・公民館施設予約	18		
都市基盤・生活基盤	5	・川越シャトル	11
		・川越駅西口のバス乗降	13
		・県道川越北環状線	13
		・河岸街道の整備	15
		・川越市駅西口の開設	15
環 境	1	・市内の緑化	13
計	18		

意見交換（要約）

意見 私は南公民館登録グループ連絡会の会長をしております。本日はタウンミーティングということで、私たち登録グループのメンバーと市長さんと意見交換を行う貴重な場を設けていただきまして大変ありがとうございます。

私たち、南公民館の登録グループは、福祉センターの中にあった時代から、プレハブの建物を経て、平成 27 年度から、ここウェスタ川越の中の南公民館を拠点として、今年度 44 団体、791 名のメンバーが活動しております。17 ある公民館の中で唯一、登録グループが増え、活発に活動しているところでございます。

本日は、日頃活動していて感じることを事前に意見としてまとめさせていただきました。全体では、大きく分けて 9 つのテーマに分かれ、約 70 の意見がございました。何分にも時間に限りがありますので、すべての意見を取り上げることができません。テーマを絞り、それぞれのテーマについて、代表して意見や提案を発言してもらうことを考えております。何卒、よろしくお願いいたします。

《公民館登録グループの優先予約権》

意見 川越学舎と申します。私たちの会は、川越の歴史や文化を一生懸命学んでいます。上は 93 歳から下は 50 代まで、平均年齢が 75 歳です。川越市内を見ると、介護施設等、介護保険を使うような方の施設はどんどん増えていますが、元気なお年寄りが元気に活動する場が、この公民館以外少ないような気がするんです。

公民館で活動しているときに、私たちは月 2 回、第 1、第 3 土曜日に活動すると決めています。この南公民館の施設は、登録グループといえども抽選が公平にやられるということで、ほかの登録グループ以外の団体、市、いろいろな方と競合してこの第 1、第 3 の土曜日の午前中の枠をとるのがとても困難なんです。平均年齢 75 歳というと、駅から近いということで南公民館に登録グループを移しています。それが、ここが外れて中央公民館だの高階だの行かなくちゃいけなくなると、本当に困ってしまうことが多いんです。

予約が確定するのが一月前なので、講師の先生のほうには、それよりも前に、多分、南公民館でしょうが、ちょっと会場が変わるかもしれませんということでお願いします。こういった不便は、せつかく私たち南公民館の登録グループという団体で市民の皆さんにもいろいろな公開講座等で講演を開放しているのに、そういう優

先もないとちょっとつらいものがあります。登録グループだけでも何か優先権みたいなものを与えていただければ持続的な活動ができるかなと思っています。

市長 ご要望の趣旨はよくわかりますが、1つは、ここはとてもいろいろな面で人気のある場所です。申し込みというか希望者は多く、そういう中で公平性という観点からすると、そのご要望に応えるというのは難しい面がございます。登録団体の皆様方に対しては、公民館の使用料の面で一定程度の優遇といえますか、措置を講じていると思うんですけども、その予約の面において優先するというのは、例えば市が共催の事業とか、そういうものについてはやっているんですけども、そうでないものについては残念ながら公平性の観点から、非登録グループの皆さん方の利用と同一に扱わざるを得ないという点がございますので、その辺はぜひご理解をいただきたいと思います。

意見 できればと思ったんですが、もう公平性というのがどういう観点かというのが本当につらいところだと思います。持続的にやっているところと、ぽつんと入ってきたところと競合するというのは本当にちょっと。

市長 ほかの公民館においても全く同じようにやっております、ご理解をいただきたいと思います。

《公民館使用料・使用時間》

意見 新婦人文化部と申します。どこもそうだと思うんですが、やはり私たちは高齢化していて、早くとか効率よくという言葉はとてもなじまないんですね。来るのもゆっくり、仕事もゆっくり、帰りもゆっくりということで、やはり使用時間について2時間半というのは、ちょっときついかと思うんです。前は午後1時から5時まで4時間ありましたので、その中でやればよかったです。それが2時間半の中で用意もして後片づけもして、それから、伝達事項がいっぱいありまして、お祭りがあるからどこだとか、勉強しに来てくださいとか、そういうのを伝達したりする時間を入れますと、本当に中身がなくなっちゃって、もう終わっちゃったって感じて、毎回帰るような感じなんです。

今、月3回利用させていただいております。私たちは手芸をやっているんですが、それができなくても、元気でここまで一生懸命に車やバスや電車に乗ってくる、自転車に乗ってくる、顔を会わせてよくおしゃべりをする、それが健康増進、認知症

予防にもなっています。皆さんには南公民館だけでもいいから来てと言うのが合い言葉で集まっています。

それで、私たちも年金生活ですよ。年金でも、たくさんいただいている方もいらっしゃるかもしれませんが、私たち女性はとにかく低いですよね。それもありまして、公民館を使うのにやはり料金が、私たちは半額にさせていただいていますけれども、ほかのところを使うときは全部そのまま一律になってしまいます。だから、とても高いなといつもびっくりしています。

それで、1回使うのに1,000円近くなるとか、そういうのって私、とても商業的な感じがして、市民が安心して使える値段じゃないなと思っておりますので、今回はこのことを言わせていただきたいと思います。

公民館というのは、やはり全ての国民が、あらゆる機会に、あらゆる場所を利用して生活に即する文化、教養、健康や社会福祉の増進、それから、住民の集会やその他の活動の利用に供するところであるというふうに、社会教育法には書いてありますので、やはりお金を取らないで使えるような方法、お金の使い方というのを考えていただければと思っています。

市長 利用時間については、アンケートを何年前にとりまして、2時間ぐらいのグループが多かったということから、今までの4時間から2時間半という形に変えさせていただきました。したがって、もし、ご要望が多いようであれば、またアンケートなどをやってみて、その結果によっては見直しをするということもあり得ると考えております。

それから、料金については、平成26年に見直しをさせていただいて、受益者負担という、利用する人と全く利用しない人とのバランスを考えて、登録団体の皆様方からも料金をいただくということになったわけでございます。登録団体の皆様方については、その登録公民館を使用する場合には半額になっているということでご理解をいただきたいと思います。

意見 アンケートに従って2時間半に決められたというお話でしたが、使ってみた結果のアンケートをぜひとってもらいたい。2時間半じゃ少ないという感じが実はするんですよ。3時間ぐらいがいいかなと思っているんですけども。

宍戸副市長 もう一つ、大事なこととして、そうすると要はコマ数が減ってしまうんですよ。そのバランスがありますので、市長が申し上げたようにアンケートを

とったという事情があります。ですから、2時間プラスその準備に30分で2時間半ということにしたので、今度またアンケートをとって、増やしたいということであれば、市長が申し上げたように若干考えるところがあると思います。ただ、その際にはコマ数が減ってしまい、借りられる団体が減ってしまうということもご了解願いたいと考えているところでございます。

《南公民館の備品》 《南公民館の案内板設置》

意見 35期囲碁クラブでございます。公民館まつりというのは、どこの公民館も毎年開かれていますと思いますが、このとき使うパネルとか脚というのが非常に老朽化していて重い。要は3Kなんですよ。女性からすると、非常にきつい、汚い、危険ということなので、これを更新してアルミ製だとか軽いものにして、女性でも扱えるものにしていただけないかということでございます。これは大分、女性から何とかしてくれという意見が出ておりました。

それと、もう一つは、このウェスタ川越は利用者が多いので、中にははるか遠方から来る方もいらっしゃる。そこで、南公民館の場所を紹介するのに、ウェスタ川越の中にありますよという話をするのですが、相手が来なかったのも、後で聞いてみると、行ったけれども、なかったと。で、帰っちゃったと。我々もよく見ると、確かに南公民館というのはここですよというのがないんですね。中に入っても建物の一番端の、しかも、近くに寄ってみると手前に市の証明センターがあって、その奥に行かないとわからないということなので、何とかこの辺を善処してもらえないかという2点でございます。

市長 パネルにつきましては、予算の制約等もございまして、順次重くない、軽いものに変えていきたいと考えておりますが、そのスピード感が皆様方のご要望に追いつかないというような部分がございます。いずれにしましても、できる限り努力はしたいと思っております。

それと、案内につきましては、これはいろいろ工夫の余地はあるのだろうと思いますが、県との複合施設ということもあって、統一した基準でやっておりますので、突出して目立つ看板を出すとか、そういうのが難しい面がございます。この点については、ご指摘は前からかなりいただいておりますので、何らかのできる範囲での改善というのはやっていきたいと思っております。

《南公民館分室の設置》

意見 先ほどから話に出てきますように、南公民館というのは交通の便が良過ぎるという非常に特殊な環境に置かれております。実際に南公民館を利用しているのは川越市民よりは、この近隣の地域の方のほうがはるかに多いです。鶴ヶ島でありますとか所沢でありますとか、そういうところの人が利用していて、南公民館のこの地域の人が使っているんじゃないんです。使ってはいるけれども、大多数はほかから来た人です。公民館というのは地域に根差して、その地域の人と共生して、その地域の文化を発展させるということが今までの公民館の考え方の基本です。南公民館はその地域を超えた公民館、それはそういう時代になったのかなと思いはするんですが、この地域に住んでいる人間からすると非常に困った話なんです。よそから来る人がいるということは川越の発展のために経済効果も良いことだと思いますが、この地域で、この公民館を利用させてもらっている立場としては公民館が使えないというのは非常に困った問題です。

そういうことで、端的に言いますと、とにかく増やしてもらいたい。すぐは無理だとしても、先ほど市長さんが言われましたように、財政的なものを急にできるわけないので、それを根本的に将来の公民館というのはどういうものだろうと、特にこの川越駅の近くにある公民館というのはどういうものだろうというところを基本的に考えていただきたい。そうすると、やはり5年、10年先になると思います。そうであれば、今まで使わせていただいたプレハブの南公民館、これは今、西口再開発というために使われていると思いますが、そこを市のほうで何とか南公民館の分室ということで、かわりに我々にも使わせていただけないかと。そうすれば、その5年、10年先のことは今から財政的なもの等を検討するとして、当面の間は急場しのぎで今までのプレハブの南公民館を使わせていただきたいということでございます。

市長 今、ご要望のあった分室を設けるというのは、正直言って難しい面があるかと思いますが。考えられることとしては、ここから駅に近い市有地に新しいビルを民間がつくっているのですが、その3階に市のいろいろな機能が入る予定です。可能性としては例えばそういうところに一定程度、皆さんが集まれるような場所が設けられるかどうか、それは検討の余地があると思います。

《ウェスタ川越施設設備》

意見 大正琴クラブと申します。私たちは、音楽ということで大ホールも利用することがあります。それで、ウェスタ川越の大ホールについて、お客様側からの意見といたしまして、正面から2階に入るんですよというのに、高齢者の方が多くて、階段が目の前に大きいのはあるんですけども、エレベーターも聞かないとわかりません。エスカレーターはユニクスのほうに行かないと使えません。そういう状態の人が、もう第1回目のときから大変多く聞きました。あの広いところの半分でもいいからエスカレーターを設置していただけないかという意見が多数あります。

そして、今度は中に入りました。トイレはどこでしょう。表示がありません。そういう意見も多いです。そして、中に入りましてからも3階席に行くのにエレベーターが大変遠いんですね。1階席でも、あの1階席のところからトイレに行くのに階段を上がって、それからじゃないと2階のトイレにも行けないということで、高齢者の最近のバリアフリーの建物にしては、大変不自由をしております。

皆様ね、一度でもいいですから、満席になった状態でトイレを利用してみてください。15分の休憩でトイレに行くというのが、ご利用されたことがある方はわかると思いますけれども、高齢者にとっては大変不自由をしております。先ほどからいろいろなところでも意見が出ましたが、ホールの中にも案内掲示板の大きなものを設置していただいて、ぜひどなたにでもわかりやすくしていただきたいと思います。

また、出演者として大ホールを利用することも1年に1度ほどありまして、中も大変複雑になっています。控室もたくさんあります。また、中のリハーサルをしようとするところも表示がわからなくて迷路のようなんですね。舞台の裏まで出るところまで、本当に自分ひとりでは行動できないから、団体行動しましょうというぐらいなので、廊下のところに表示板をたくさんつくっていただければと思います。皆さん、年1回ぐらいしか使わないので、どなたでもわかりやすいように、その辺はこのウェスタ川越の全てについて言えることだと思いますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

市長 ホールの部分の中の案内表示板については、皆様方のご意見を聞きながらいろいろ工夫していきたいと思います。

《ウェスタ川越駐車場・駐輪場》

意見 私のほうからは、ウェスタ川越の駐車場と駐輪場の問題の2点についてお話をいたします。

下の駐車場の料金が1時間は無料なんですけれども、それ以上経つと普通の料金がかかりますので、この公民館で活動して、例えば2時間、3時間になりますと、どうしても料金がかさみます。したがって、できるだけ費用を削減するために、できれば公民館活動をしている間は無料にさせていただきたいということ。あと、駐輪場の問題は、駐輪場の中に高低があって低いのと高いのとあるわけです。それで、低いのはもちろん問題ないんですけれども、高いほうになりますと、なかなか力がないと持ち上げられない。したがって、できれば全部普通に入るような高さで何とか改善してほしい、そういう意見でございます。

文化スポーツ部長 まず、駐車場の料金につきましては、指定管理という形で業者をお願いしております。この施設では、南公民館以外でもホールを利用される方ですとか、県の施設、市の施設を利用される方がいろいろいらっしゃる。こちらで何か特別に割り引くといったことは、難しいという状況です。料金を設定するときにも近隣の状況等を見て考えておりますので、その辺は当初の1時間は無料で、その後1時間200円ということでご理解いただければと思います。

それから、駐輪場のことですが、なぜ高いのと低いのになっているかと申しますと、狭いその敷地の中で、できるだけ台数を置けるようにするためでございます。自転車のサドルの部分が全部平置きになってしまうとぶつかってしまうため、それをぶつからないように高いのと、低いのをつくっております。台数確保という意味合いもありますので、ご理解いただきたいと思います。

意見 隣のウニクスのところには駐輪場が全部で3種類ぐらいあるんですよ。それで、あるところは全部同じ平らなもの、高低があっても公民館ほど高くないもの、もうちょっと高いものの3つがあるんですね。それで車幅を調べてみたんですけれども、低いやつはやはり非常に広いんですね。それから、同じ高いのもあるんですけれども、それはほとんど公民館と同じ幅なんです。それで、ちょっと高いやつは公民館よりはちょっと広くなるんですけれども、それだったらもうちょっと多少スペースが少なくなるかもしれないけれども、楽じゃないかなというふうに思いましたので、参考までに申し上げました。

文化スポーツ部長　そういったいろいろな種類があるということについては、よく承知していなかったのですが、また、今後とも勉強させていただきたいと思います。

《ウエスタ川越周辺の公共施設》

意見　水墨画甲風会です。甲風会は川越で活動し始めて、もう 38 年になります。当初のころは年に 2 回の展示会、展覧会をやっていた時期もあるんですが、だんだん人数も減ってきたこともあるんですが、やはり展示スペースが限られてきまして、非常に展示がしにくくなってきた。これは我々水墨画だけでなく、特に小規模なグループの場合はもっと大変じゃないかなというふうに感じます。

ウエスタ川越ができる前は、例えばアトレの 6 階に市の管轄の展示スペースがありました。それと女性会館とか、南公民館も前の段階では公民館の中にちゃんと展示できるようなスペースがあったし、パネルも自分で持っていたということで、長期間、例えば数日は展示をできるような体制が整えられていたんです。

ただ、今度のウエスタ川越ができてからは、そういうスペースが全くない。一応この多目的ホールでやることはできるですよ、パネルもありますし。ただ、この多目的ホールは 4 つに区切られるんですけれども、4 分の 1 使用するだけでも 1 日に 2 万 6,900 円、土日ですと 3 万 5,100 円ですよ。絵画を展示する場合は 1 日ということはありませんので、5 日間ぐらいやりますと、その 5 倍です。とてもとてもそんなところで展示はできない。ということで今、唯一あるのは美術館の市民ギャラリーです。これで 1 日、8,000 円、これでも従来よりは高くなっていますけれども、我々が何とかやれる範囲です。

ただし、そうすると足が問題で、美術館までのバスの面というのは決してよくないので、他の地域や何かの団体と交流して、そういう人たちに招待状を出すんです。けれども、なかなか来ていただくのが大変なので、そこら辺も問題があるということで、先ほどパネルの話が出ましたけれども、例えばウエスタ川越にもパネルがいっぱいあるんですよ。市の持ち物じゃないけれどもあります。何でそれがこちらで使えないのかという、もう前から不思議でしょうがない。きっと話し合いをするなり何らかの方法を、県とも話し合いをすれば、あそこに立派なパネルがあるんですよ。それを南公民館で使わせてもらう。

それから、絵画展をやるグループが幾つもあると思うんですけれども、そういう

グループに、例えば南公民館の中でそういった展示会ウイークみたいのを、二、三週間設けていただいで、そこでは、3日とか、できれば5日間ぐらい継続して借りられるようにしていただければ、いろいろな問題が解決するんじゃないかなという事で、検討をぜひお願いしたいと思います。

市長 多目的ホールに備えられているパネルというのは、県のもですね。借りるとなると、それなりの料金を払わなければならないことになりそうですが、それは調査してみます。

文化スポーツ部長 県の部分も市の持ち物と一緒に会社をお願いしていますので、借りるとなると、やはりお金が発生すると思います。

意見 借りる料金は払っても、借りられるようにしてほしいわけですよ。

市長 借りられるかどうかも含めて調査して回答させていただきます。

《川越運動公園陸上競技場》

意見 和のにこにこ会といって、着物のリフォームをやっているグループです。公民館からちょっと離れてしまうんですけども、うちの孫が陸上部に入っていて、陸上競技場に行く機会が割と多かったんですね。私、にわか障害者のものですから、そこにシルバーカーを置いてあるんですね。そうすると、陸上競技場の客席に行くのにシルバーカーを持って階段は上がれないものですから、「申しわけないですけども、隅のほうで見せていただけないですか」と私が言ったら、多分学校の先生かなと思うんですけども「ここは関係者だけしか入れません」とか、もうすごいきつい言葉でいろいろ言われたんですね。私もどうしていいかわからなくて、でも、孫の頑張っている姿を見たいしということもあって、「どうしたらいいんですか」と言ったら、「私たちは仕事をしているんですよ」と言われて、「障害者はここに来てはいけないんですか」と言ったら、その方じゃない違う方が、「ちょっとお待ちください」と言って、施設の管理の方に、それが元城南中の先生で、たまたまうちの娘たちがお世話になった先生だったものですから、「実はこういうことで」と言ったら、「障害者が入るスロープがありますから」ということであけていただいたんですけども、そのスロープがあることすらわからないわけですよ。

全くこの公民館と同じように、表示がされていないので、どこに行ったらよいのやら。ただ、私は見たいだけなんですけれども、その行き方がわからないので、そ

の対応の悪さに、とにかく私は腹立たしくて、もうちょっと優しくしてもらえたらいいなと思うんですね。やはり障害者はすごいたくさんいると思うんですけれども、市のほうでも障害者の住みよいまちにということをやっているうちに、こういうことでいいのかなというのもすごい感じました。障害者でも、誰でも、どこにでも行けるまちづくりにしていただきたいと思ひまして、お願いします。

市長 運動公園の陸上競技場は、体育館も含めて施設管理公社というところに管理を任せているんです。施設管理公社というのは市の関連団体みたいなものですが、そういうようなことがあったということであれば、しっかりと教育指導するように徹底していきたいと思っておりますので、ご理解ください。

文化スポーツ部長 補足をちょっとさせていただきますと、市長が申し上げたとおり、あそこは施設管理公社というところが管理しております。ただ、ご指摘いただいたのは主催者側の担当者だと伺っておりますので、恐らくそこを借りた競技をするほうの関係者の方かなと思ひます。そこにつきましては、市のほうで直接指導といったことはできませんけれども、施設管理公社を通じてお知らせをすることでスムーズに対応できるようにしていければと考えております。

意見 ぜひよろしく願ひいたします。

《川越シャトル》

意見 朗読の会オツベルでございます。

シャトルバスにつきましては、利用したい方は多いと思ひますので、もっと本数を増やしていただきたいという希望でございます。

今後は人生 100 歳の時代を超えます。公民館の利用者の増加と生涯学習の場として、公民館を足の便のよい場所への建設、移設を希望したいと思ひます。南公民館はとても便利でございますが、ほかの公民館を見ますと、なかなか不便なところにあつて、夜は暗かったり遠かったり、駅から遠かったりでなかなか行く機会が減っているということを聞きますので、それを含めましてよろしく願ひいたします。

市長 シャトルバスについては、5年に一度、本数や路線等を見直すということになっております。見直すに当たっては、その5年間の利用状況等を調査した上で、見直しをしております。今回のこの路線と本数等になったのは、前回の見直しの中でかなり利用の少ない川越の北部地域、北西地域を回るシャトルの路線を廃止した

りして、利用の多いほうに振り分けるといような作業をやってきました。

今回、ご要望が出ているということであれば、また、今度の平成 35 年の見直しに向けて、利用状況の調査をした上で、それを反映するような見直しをしていきたいと考えています。限られた台数のバスで、できるだけ赤字が少ないような路線の工夫を、本数の工夫等をしている関係で、十分にご希望、ご要望には応えられない、そういう部分もあろうかと思えます。

それが1つと、川越市が間もなく始めようとしているデマンド交通というものがございいます。これは、本来は交通過疎の地域、シャトルの路線を廃止したような地域を補うための交通手段として、市がこれから始めようとしているものです。そういうものも順次利用していただけるようにする予定でございいますので、ご理解いただきたいと思えます。

総合政策部長 私は交通のほうをこの3月まで担当しておりましたので、少々お話しさせていただければと思えますが、市長が申し上げたとおり、おおむね5年に一度見直しをしています。今、走っているところは、この4月からスタートしていますので、基本的にまた5年たてば、そこで見直しをかけていくこととなります。

それと、デマンド交通というのが、今年度中にはもうあるところでスタートしてまいりますので、そういった面でのご利用もできると思えます。

もう一つは、やはり路線バスですね。路線バスも皆さんが年に1回でも月に1回でも乗っていただかないと。やはりこういうと言葉は悪いかもしれないですけども、高齢者の方が多くなって、例えばお勤めする方が少なくなるということは、毎日路線バスを使う人が少なくなっていくます。そうすると、必然的にバスの経営が赤字になる。すると、やはり路線がどんどん縮小、あるいは廃止になってしまいます。そういった面ではバスのご利用も、特に民間の路線バスをご利用いただければと思えます。

意見 洋裁クラブです。この件に関して、公平性という点について一言いただければと思えます。私は便利なところに住んでおまして、民間のバスを利用させていただいております。ただ、川越市で発行している特別乗車証というのがありますがけれども、それは1区間100円で乗れる。でも、便利なところで利用している者は必ず170円が1区間なんですね。そうすると往復を乗ると340円かかる。年金をもらって生活している者にとっては340円だったら、あっ、一品買えるなみたいな考

え方もある。便利なところに住んでいるがゆえに、その特別乗車証というのを利用できない部分があるので、その点の公平性をお願いできないでしょうか。

都市計画部長 今、ご指摘いただいたことについては、恐らくそのとおりだと思っております。シャトルバスを利用するときには現在、70歳以上の方については100円で利用することができまして、90歳以上の方は無料という形になってございますが、特に民間の西武バスや東武バスであると170円かかってしまうんだけど、何とかならないかというようなご意見でございますね。

意見 そうです。

都市計画部長 公共交通については役割分担と申しますか、ある程度便利なところを走っている民間の路線バスと、それを若干補完するものとして川越シャトルを用意しています。もう少し不便なところについては、さらに市としてデマンド交通という、タクシーとバスの中間のような乗り物を今年度中には開始したいと思っております。そうした役割分担をしていかないと、それぞれの交通手段というものはうまく成り立っていかないといったところはどうしてもございます。そのため、その民間の路線バスに対する運賃の減免といった部分については、私どもとしても財政的に厳しいところがあるので、すぐにはできないというところではございますけれども、1つご提案を差し上げるとすれば、民間の特に東武バスでは、65歳以上の方は半年間1万6,000円で乗り放題のパスであるとか、そうしたお得な切符を用意しております。すぐにご希望に沿うことはできないのですが、そうした部分でご対応いただけるとありがたいと思っております。

意見 わかりました。それは現在のことでですね。

都市計画部長 はい。

意見 いずれという形の公平性でお願いしたいという部分を含めて、今回要望しましたので、お考えいただければと思います。

市長 全ての面において、きめ細かに対応するというのは難しい面がありますけれども、これから先のこととして検討はさせていただきます。

《川越駅西口のバス乗降》 《市内の緑化》 《県道川越北環状線》

意見 いきいき倶楽部です。3つほどお話ししていきます。

1つは、川越駅前からウェスタ川越へ来るときの広い道路なんですけれども、あ

そこに観光バスがとまっていて危険じゃないのかなというふうに常に思っております。どういう解決策があるかわかりませんが、それが1点でございます。

それから、2点目は、これはどこということではないんですが、市内がどうも緑が少ないというご指摘、意見がいろいろ出ておりまして、私も本当にそうかなというふうに思って、まだはっきりわかりません。ですが、何人かの方からそういう意見がありましたので、ご紹介させていただきます。これはすぐやれというわけではないとは思いますが、何か見解がございましたらお聞かせ願えればと思います。

最後でございます。これは私が常に、ここに来るのに思っていることですがけれども、川越西郵便局のところの西バイパスを工事しております。遅々として進んでおりません。もう一つ心配なのは、そこにアクセスする道路ですね、あれがもう常日ごろ混んでいるんですよ。今日も、ここに来るのにもかなり混んでいましたね。どうもあそこの道路は一日中混んでいるんじゃないんでしょうかね。そんな状況で西バイパスへつながってしまうと、大変なことになるんじゃないのかなと心配しております。以上、3点についてよろしく申し上げます。

市長 3つ出たうちの一番最後からお答えさせていただきますけれども、川越西郵便局のところは、いわゆる北環状と言われる道路でございます。あれは県の仕事です。当初は、たしか平成27年には完成するという予定だったんですが、いろいろな事情があって遅れてきました。ただ、県は平成30年度中には、来年の3月までには終わらせると言っております。今、鋭意工事をやっているところでございます。したがって、来年の3月には完成すると。ただ、完成した場合に、あそこから先が片側2車線の道路になるのに、ロジャースのところからあそこに至る道が2車線のままでは渋滞が生じてしまうのではないだろうかという心配を寄せてくださる方も大勢いらっしゃいます。交通量の調査等で、その辺の問題はクリアできるだろうという見込みのもとにやっているのだと思いますけれども、現実に車の通行が始まった後、問題が生じるようであれば、県と一緒にその辺も解消のために努力はしていきたいと考えております。

それから、市内に緑が少ないというのは、特に旧市内ですね。古いまちのほうは、特に蔵造りの町並み等を見ていただければわかるように、確かに緑が少なく、夏は観光客が炎天下でとても暑くて大変な面がございます。ただ、木を植えるスペースもほとんどないですし、緑を増やすとしたらプランターに花等を植えて商店に置

いてもらうとか、そういった働きかけをしていくことになると思っております。

それとの関連で、川越の南部のほう、この辺から新河岸のほうとか旭町のほうについては、公園がほかの地域に比べて比較的少ないんです。その要望は前からいただいております、差し当たっては、今、県の庁舎の跡地は当面、防災広場として、いざというときの避難場所を兼ねた公園のようなものにする、そういう計画でございます。

あと、1番目の路上で乗り降りする観光バス等については、これもこの近辺の大きな課題の1つでありまして、送迎バス協会というのがあるのですが、そういうところに加盟している事業者については、バス協会のほうで配慮した配置があつて、それに従ってくれているのですが、それに加盟していない事業者、あるいは企業とか学校の送迎バスも路上で乗り降り、路肩にとめて乗り降りをするのがいっぱいございます。そういうのを全く禁止してしまうわけにもいかないので、どうやって分散させるか、その辺のところをバス協会も含めていろいろ考えているところでございます。

《河岸街道の整備》 《川越市駅西口の開設》

意見 南山会と申します。河岸街道についてですが、雨が降ったりすると、非常に道が悪くなります。子どもたちの通る道でありますので、よく見ていただきたいと思っております。

あとそれから、ガードレールが普通のガードレールではなくて、ちょっと変わっているというか、普通白いガードレールですけれども、あそこは何か網みたいになっていて、縁石があつて、それでそれがとても危ないんですよ。ちょうど自転車のペダルがぶつかる状態です、わからないと困るので、一応図を描いてきたんですけれども、ぜひそれを見て検討してもらいたいと思っております。ちょっとぶつかったぐらいでは、普通の白いガードレールだと、すぐにだめにはならないんですけれども、それはちょっとぶつかっただけでも、すぐぐにゃつと曲がるんですよ。結構、縁石にぶつかって、子どもとか、私もそうですけれども、転びそうになったりすることがあるんですよ。だから、それをよく検討してもらいたいと思っております。

あとそれから、もう一つ、川越市駅のあかすの踏切のことでお話ししたいと思っておりますが、川越市駅は片側しか改札がありません。まず歩いていくと、そこで10分

近く待たなければならぬのですよね。ですから、ぜひそれを、もう片側のほうにもつくっていただきたいと思います。東武鉄道のほうに行きますと、ここは市の土地になりますので、市長の許可がなければつくれないというお話でございます。これは約40年前に、川越に来たときに聞きました。いずれという話はありませんけれども、やはりあそこで40年待って、私も75歳になりますので、次できるまで待つ間に、私はもうこの世の中にいないのではないかと考えているくらいでございます。ぜひ市長さんをお願いしたいと思います。

建設部長 道路のほうは、おっしゃったように歩道が傷んでいるところがここに限らず、ところどころでございます。特に雨の水たまりが多いということでございますので、雨のときに現地を見て対応していきたいと思います。全部を舗装し直すとか、そういったことは難しい状況でございますので直しながらと、あと河岸街道ですと泉小の周りは、これから北環状線がつながるようになると、かなり変わってまいります。そういった中で、またいじるところがございますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それから、先ほどの縁石と網目のフェンスですが、それはほかのところでもありまして、多分緑で網目が入ったフェンスで、下が縁石。あれはその縁石が歩車分離になっていて、そのところで上で歩行者が横断できないようにしてあるわけですが、縁石はむしろ車とか自転車が突っ込んでこないようにしてあるものです。いずれにしても、危険な状態があるという具体的なところがあれば直していくんですが、ただ、これはこれで一般的な構造ですので、自転車で走る場合には、距離を保ってお願いしたいところでございます。

意見 距離感を持ちたいんですけれども、車はちっとも遠慮してくれないんですよね。それで、その度に冷や冷やします。

それからあと、川越市駅の西口開設については、市長の判断で何とかできるかできないか。市長が許可するかできないか、それをよろしくお願ひします。

市長 川越市駅に西口を設けるという件ですが、私も川越市駅は川越の町なかにある駅の中では一番古いままの駅であるということもあって、ぜひ西口を設けたいとずっと思っておりますし、今でも思っております。ただ、あそこは東武の車両工場があって、東武にとっては西口をあけるためには車両工場を移転させなければならないという、かなり大きい課題があります。このところで東武ではスケートセン

ターのあった建物を取り壊して、当面何をつくるということを決めていないという状況もあります。市としては、あそこの活用も含めて、いっそ車両工場をどこかに移してもらって、西口を開きませんかという働きかけをやっていきたいと思っているところでもあります。

したがいまして、まだ正直言って時間がかかると思います。私の考えでは、あの車両工場のところに駅ビルとマンションをつくって分譲すれば、東武にとっても悪い話ではないんだらうと、こっちは勝手に思っているんですけども、ただ、東武がそういう計画を持ってくれないとどうにもならない、そういう部分があります。今までもいろいろ働きかけはしてきたんですが、ほとんど東武では東上線の駅については動かなかった。ひと頃はスカイツリーのほうでいっぱい金を使っているから、東上線のほうに使う金がないからだよという、そういううわさも飛んだんですけども、ここへ来て、ああいう状況になったこともあって、いい時期だというふうにこちらは思っておりますので、東武のほうにいろいろ働きかけはしていきたいと考えております。

《川越駅東口図書館の蔵書》

意見 囲碁同好会です。南公民館を利用している囲碁仲間では、東口図書館を利用します。ここには新しい本はいろいろあるんですけども、囲碁とか将棋に関する図書はないんですよ。あっても、よくよく探してちょっとあるかなという程度なんで、これはぜひ充実させてもらいたいと。

それから、これは将来的な要望ですけども、図書館というのは本だけ置いておけばいいという時代は、もう去ったんじゃないかと。ぜひ中古でもいいですから囲碁、あるいは将棋のソフトが入ったパソコンを設置していただいて、ひとりでもできるようにしてもらえたらいいかなという要望でございます。

市長 東口の図書館については、囲碁とか将棋に関する本は40冊ぐらいあるという報告を受けておりまして、書架、目につくところに置いてない場合は、カウンターにご要望をいただければ何とか対応できることではないだろうかと考えておりますので、ご理解いただきたいと思います。

それから、パソコン、囲碁等のソフトの入ったパソコンの件につきましては、今後、研究をさせていただきたいと思っております。現時点では計画はございません

けれども、ご要望が多ければ、検討研究させていただきたいと思っております。

《川越駅西口への図書館設置》

意見 洋裁クラブです。以前、県立図書館がこの場所であり、利用させていただいておりました。現在はウエスタ川越ができて、当然のごとく一般市民の私は図書館も設置されるだろうなと思っていたんですが、残念なことに図書館はありませんでした。私の住んでいる場所から中央図書館、クラッセまで行くにはちょっと遠いので、ぜひ西口側に、せめて中央図書館ぐらいの規模の図書館を誘致していただきたいというのが希望です。なぜなら、クラッセの図書館で若い学生さんたちが勉強というんですか、調べ物をしているような様子は今現在見受けられません。なぜなら、中高年の方がほとんど陣取っているというのが現状に近いんですね。ですから、以前の県立図書館のように調べ物ができる、そういう場所をお願いしたいと思います。

市長 中央図書館クラスの図書館をつくるというのは、現在の市にとってはハードルの高いというか、大変難しい問題でございますので、まずはご要望として承らせていただきまして、今後研究していきたいと思っております。

《公民館施設予約》

意見 公民館運営審議会委員をしております。いろいろなご要望をたくさん出しまして、川合市長さん、本当にいろいろありがとうございました。

これだけの意見が出たというのは、私は悪いことではないと思っております。私も幾つかの公民館とかかわりを持ってまいりましたが、これだけの意見、要望ができる、できないは別にしまして、出るということは現在のここの南公民館の館長さん、それから、ここにおります登録グループの会長さんとのコミュニケーションが非常にうまくいっている。それで、私たちは本当に普段から会長さんや館長さんに、まあ適当な思ったようなこともしょっちゅう言っている、そういうことでコミュニケーションがうまくいっているというふうに思います。それが証拠に、ここの登録グループが非常に増えているんです。

ただ、一番ここで問題になっていることというのは、今ここにお集まりいただきました登録グループ、一体何のためにあるんだろうということが改めて議論になっ

ています。それは何かといいますと、昔は例えばこの公民館の利用というのは無料でございました。そのときは大変にこの登録グループというのは厳密な審査と、それから、例えば会計の報告、年度内の計画とか、そういうものをいっぱい書類を出して、今でもそうですけれども、いわば公民館と手を組んで、この地域の発展のために協力をするという関係でした。最近どうなったかといいますと、結局は料金が半額になるというメリットしかなくなってきました、正直言わせて。

それで、私どものほう、私は川越五行歌会というところに所属していますが、1カ月のメリットが250円なんです。これが例えば20人ぐらいの人が割ってみますと、本当に1カ月のメリットは数十円なんです。登録グループになりますといろいろな義務、それから、協力の要望も来ます。例えば私のように審議会の委員になるのも、これは私は登録グループに入っているからです。それから、例えば公民館まつり、それから、地域への貢献、そういったことは全部、私ども登録グループに要望が出てまいります。当然のことです。

しかし、1カ月に1人何十円かぐらいのメリットのために登録グループに入っている。その魅力がだんだんなくなってきているということは事実でございます。そのために、私が経験したことだけでも、もうそれは登録グループなんかやめて、250円ぐらいだったら負担してもいいじゃないかと、もうやめようやということでやめちゃった人たちも、グループもたくさんあります。

それはそうとして、そういう登録グループが、ざっくりばらんに言ったのが今の意見なんですね。それはできる、できないは別にして申し上げたということだろうと思いますが、私が非常に重要だと思うのは、できないというのは簡単なんです。しかし、なぜできないのかということがやはり問題になるところでございます。できるかしらんけれども、予算が伴わない。予算は必要である。これも大変難しい問題です。

しかし、要望の中には予算措置を講じなくてもできるものがたくさんございます。それから、今、川合市長がいろいろ前向きなご発言をいただきました。そういうことで、そのほかにも経費はそんなにかからないでできるようなことがたくさんあります。例えばの話、言っていることかどうかわかりませんが、ここの部屋を申し込むときに4コマまでとれるんです、一遍に。そうすると、私たちはどういうことを考えるかという、4つとっちゃえということで4つ申し込んじゃうわけです。同

じ時間帯でね。それが可能なんです。そして、当たったら、ほかは全部キャンセルするというふうなこともやられています。ですから、システムの問題もあるんですね。私は正直言いまして体は2つないんだから、原則1コマしかとれないよというふうなシステムに変えていくことも、ある意味でいうと利用がもっと幅が広がって、いろいろな人が利用できるような、今よりも4倍そういうものが増える部分もあるんじゃないかというふうに思っております。

したがって、今、ご利用の人が多いんだからじゃなくて、システムそのものを考えていただく。これはお金はほとんどかかりません。そういうことも含めて、まあせめて2つぐらいまではいいけれども、4つも一遍にとるというのはあんまりよくないんじゃないかと、私はそう思っています。そういうものはお金もかからないで現状を少しでもよくするためのアイデアかなと思っております。

そういうことも含めて、やれる、やれない、これはやれることでもやはり大変なことなんです。やれないというのも何か言い逃れみたいなこともあるし、したがって、そういうことを十分に各部局でご検討いただいて、そして、少しでも市民のためになるという努力を続けていただきたいと思いますし私はそのように思っております。

市長 今のご発言にありましたように、お金がかからないで工夫でできることはできるだけ早く対応していきたいと思っております。

教育総務部長 公民館の予約システムの関係ですが、お金がかからないとおっしゃいましたが、システムの改修というのが必要になりますので、それに関してはお金がかかるところでございます。ただ、今のご意見賜りまして、また4コマを2コマということもありましたので、それにつきましては、どのくらいかかるか、すぐには分からないものですから、関係課と協議をして検討してまいりたいと思います。

あと、登録団体の皆さんが登録していただいたのもおっしゃるとおり、今、大分数が減ってきているところがございます。その理由としては、今おっしゃったようなこともございますし、あと、先ほどから皆さんがおっしゃっているように、高齢化も進んでいて、グループの中の人数も減ってきているということもあります。あと、私たちのほうでお願いしてございまして、公民館まつりのご協力等もいただいていることが、負担になっているというところも捉えておりますので、その辺りはこれからいろいろと検討してまいりたいと考えております。

意見 すみません、ちょっと1点だけ。4コマを2コマにするというのは反対です。

ですから、それが全登録グループの意見だというふうには考えないでほしいと思います。というのは、私どもの場合は、結局1時から3時半では短いので、必ず先生が来るときには2コマとらないとだめなんです。それで、月に2回はやっていますから、そうすると、もう既に4コマ必要になってくるんですよ。それを2コマで検討してくださいというのは困ります。

市長 そういう具体的な個別の問題については、これからそれぞれ皆さんのご意見を聞きながら変える、変えないを決めていきたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思います。

意見 ちょっと誤解されていらっしゃるようで、私のほうから申し上げます。

一度に、同じ日に、同じ時間帯で4コマをとるのは大変だなというふうに申し上げているんです。月に2回ということは2つに分かれているわけですね。だから、2つ、2つでとれると、そういう意味でございまして、誤解のないようにしてください。

意見 わかりますけれども、パソコン上ではそういう区分けでやれるというふうにはなっていないので。

意見 いや、なっていますよ。2つ、例えば10日の分と20日の部分を2コマずつということは可能です。でも、同じ日に4つというのは、これはやはり、そういう意味で言っているんです。

意見 ああ、わかりました。

意見 太極拳同好会なんですけれども、予約の日にちの発表がちょっと遅いと思うので、もう少し早く6カ月とか、まあ3カ月ぐらい前に発表がわかるようにしてほしいです。

市長 本日は、皆様方からさまざまな貴重なご意見を頂戴いたしまして、誠にありがとうございます。

先ほども申しましたが、工夫ですぐできることにつきましては、できるだけ早く実現していきたいと考えております。予算がかかったり、あるいはいろいろな調整が必要な部分につきましては、時間がかかるということをぜひご理解いただきたいと考えております。

本当に今日はありがとうございました。